

網屋吉兵衛顕彰碑 新港町



網屋吉兵衛（1785～1869）はニツ茶屋村に生まれ、1855（安政2）年に神戸村安永新田の地（新港第一突堤付近）に船たて場を築いた事で知られている。船たて場とは現在のドックに相当するもので、船底についた貝殻や船虫などを焼くための施設であった。後に、この船たて場の地は勝海舟の進言で幕府の海軍操練所となった。

なお、網屋吉兵衛の顕彰碑は新港第一突堤の付け根付近にあったが、現在はその北側の京橋のたもと付近に移設されている。

●「新港町（しんこうちょう）」の由来

新しい港ということから付けられたという。